

平成22年度

岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書

(平成21年度事務事業対象)

平成23年3月

岩出市教育委員会

## はじめに

岩出市教育委員会では、「豊かな学力の育成と地域教育力の向上」を平成21年度の重点業務として掲げ、学校教育の充実並びに生涯学習及び文化・スポーツの振興に努めてまいりました。

初めに、「豊かな学力の育成」については、2年目となる市教委指定「確かな学力育成のための実践研究事業」をさらに充実させるため、研究実践校2校を指定し、指導方法の工夫改善や教材・教具の開発等の取り組みを通して、学力の向上に取り組んでおります。また、道徳教育を全ての教育活動の要として位置づけるとともに、体育の時間やクラブ活動を充実させることにより、確かな学力と豊かな人間性、たくましい体を持つ児童・生徒の育成に努めています。

次に、「地域教育力の向上」については、①青少年の健全育成の推進を図るため、子どもを守るネットワークの拡充、見守り活動の強化、スポーツ少年団育成と環境づくり推進に取り組ましました。また、地域住民の参画を得て実施する放課後子ども教室等の取り組みを進めております。②生涯学習の推進においては、市民一人ひとりが主体的な活動に取り組むことのできる学習環境の整備を図るとともに、市民運動会やマラソン大会などスポーツイベントの充実に取り組ましました。③文化・芸術の振興では、公民館活動としての文化教室や各種講座、それらの文化活動の成果発表の場である公民館フェア並びに市民の文化・芸術の発表の場である文化祭等の取り組みが地域文化の向上に繋がった。

これらの各重点事業が効率的に実施されているかなど随時点検・評価していくことは、事務事業を推進するうえで大変重要であります。

本報告書は、本市教育委員会が課題や今後の取り組みの方向性を明らかにし、効率的な教育行政の一層の推進を図るとともに、住民の皆様への説明責任を果たし、信頼される市教育行政を推進するため、平成21年度に実施した事務事業について点検評価を行った結果をまとめたものです。

今後も、本市の長期総合計画に掲げたまちづくりの実現に向け、鋭意教育行政の充実推進に努めて参りますので皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

平成23年3月

岩出市教育委員会

## 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について

### 1 点検・評価の経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、平成21年度における岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価について岩出市第一次長期総合計画に基づき実施した事業のうち、主な38事業について点検・評価を実施した。

### 2 点検・評価方法について

点検・評価の方法については、教育総務課、生涯学習課の2課で各事業をその目的ごとに、施策としてまとめ、施策単位で評価を実施した。

評価については、4段階（a期待以上、b期待どおり、cやや下回る、d期待以下）の基準を設けた。

評価の今後の方向性については、「廃止」、「見直し」、「完了」、「継続」の4つの方向性の基準を設けた。

点検・評価の報告書については、平成23年2月7日と2月24日、2回の教育委員会評価委員会を開催し、本市の教育に関し学識経験を有する方々に意見、助言をいただき、確認のうえ取りまとめた。

各事業については、別添平成21年度教育委員会事務事業評価一覧表のとおりである。

### 3 教育委員会評価委員

氏 名	住 所	
藤井 均	岩出市野上野5 1 9 番地	委員長
富永茂郎	岩出市森1 2 1 番地の2	副委員長
山田恭央	岩出市高塚5 4 番地	

## 4 教育委員会事業の概要

岩出市教育委員会では、本市第一次長期総合計画の基本方針である「21世紀を担う人づくり」を目指し、その実現のために「学校教育の充実」「青少年の健全育成」「生涯学習の推進」「文化・芸術の振興」「国際交流の推進」「人権尊重の推進」を主要施策として掲げ、教育総務課、生涯学習課の2課において事務事業に取り組んでいる。

教育総務課においては、「1、豊かな学力の育成」、「2、安心安全な教育環境の整備」、「3、学校給食内容及び施設の充実と徴収率の向上」の重点事業に取り組んだ。

### 1 豊かな学力の育成

#### (1) 学力向上対策実践事業

「学力向上対策実践事業」としては、「適応指導教室事業」、「小学校英語講師派遣事業」、「外国青年招致事業」、「確かな学力育成のための実践研究事業」などに取り組んだ。

「適応指導教室事業」では、嘱託学校教育指導員2名を配置し、不登校気味の児童・生徒に対する教育相談や指導員と担任教師が連携をとることにより、在籍校への復帰を図っている。教室では児童・生徒の個々の立場に立ち、相談及び適応指導を行っている。平成21年度では、中学生8名はほとんど休まず教室に通い、勉学に励むことができた。また、1年生と3年生の2名が学校に復帰し、復帰した1名が普通高校へ進学したほか、2名が定時制高校へ進学するなどの成果があった。

「小学校英語講師派遣事業」では、学習指導要領の改訂により、小学校英語活動が導入されることから、岩出小学校、山崎小学校、上岩出小学校には外国人講師により、また、山崎北小学校、根来小学校、中央小学校には中学校から配置換えした英語担当教諭が5、6年生の各学級で週1回授業を行った。それにより、小学校児童が外国語を用いてコミュニケーションを図り、日本と外国の言語や文化について体験的に理解を深めさせることができた。

「外国青年招致事業」では、中学校においては平成24年度の新学習指導要領から英語授業が現行の週3回から4回になり、ますます英語教育が重要な教科になる。特に聴く・話すが必要なことから、ALTによる英語教育は、外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る上で大きな役割を果たした。

「確かな学力育成のための実践研究事業」では、根来小学校（算数科2年目）、山崎北小学校（国語科1年目）の2校を指定し、市内小・中学校の算数科及び国語科教育の拠点校として研究を推し進めている。その結果、この2校では、指導方法の工夫改善や教材・教具の開発等を通して、算数科や国語科の学習が好きと答えた児童が増加した。また、基礎・基本の定着とともに、自分で考え判断したり、それらを言葉や文章で表現したりする力や、人の話を聞く力、話し合う力の向上も見られ、本事業は子供たちの確かな学力を育成するうえで有効な事業であった。

## （2）教材・教具等整備事業

「教材・教具等整備事業」としては、「小学校パソコン教室整備事業」、「小・中学校新教育課程対応備品購入事業」に取り組んだ。

「小学校パソコン教室整備事業」では、年次計画により根来小学校、上岩出小学校のパソコンを各41台ずつ入れ替えた。このことにより、子どもたちは、最新の情報機器を活用して資料の作成等の学習を行うことができるようになり、学習の充実が図れた。

「小・中学校新教育課程対応備品購入事業」では、平成23年度から小学校、平成24年度から中学校で完全実施される新学習指導要領で新たに必要となる理科備品等を購入した。

このことにより、新しい内容の実験等が行えるようになり、新学習指導要領への移行が順調に行われている。

また、平成23年度から完全実施される小学校外国語活動では、文部科学省から「英語ノート」が配布されている。「英語ノート」の活用にあたって、CDが作成されており、電子黒板でこのCDを使用することになっている。また、中学校では各教科の指導の中で電子黒板等を利用した授業を推進する。そのため各小・中学校に64型電子黒板機能付デジタルテレビを1台整備した。このことにより、CDを活用した外国語の学習ができたほか、他教科の学習にも活用することで、児童・生徒に分かりやすく楽しい授業が行われて

いる。

また、中学校の新学習指導要領では、武道の領域が追加され必須となったことに伴い、両中学校では柔道を取り入れる。そのため柔道を学習するための柔道用畳を整備した。

その他、児童・生徒用図書を購入については、小学校では2,224冊を購入、蔵書数が75,823冊、また、中学校では1,690冊を購入、蔵書数が34,086冊となっており、小・中学校とも国が定める「学校図書館図書標準冊数」を充足している。

### (3) 就学援助等補助事業

「就学援助等補助事業」においては、「特別支援教育就学奨励扶助事業」、「要保護、準要保護児童・生徒扶助事業」に取り組んだ。

「特別支援教育就学奨励扶助事業」では、市立小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童・生徒用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費を支給し、就学の援助を行い経済的な負担軽減を図った。小学校では43名、中学校では9名に対し「特別支援教育就学援助扶助事業」を実施した。

「要保護、準要保護児童・生徒扶助事業」では、経済的理由によって就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、学用品費、通学用品費、新入学児童・生徒用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費を支給し、就学の援助を行い経済的な負担軽減を図った。小学校では462名、中学校では268名に対し「要保護、準要保護児童・生徒扶助事業」を実施した。

## 2 安心・安全な教育環境の整備

### (1) 教育環境の整備事業

「教育環境の整備事業」としては、「中学校耐震対策事業」、「小・中学校施設改修事業」、「ブロック壁耐震化補助事業」に取り組んだ。

「中学校耐震対策事業」では、平成13年度から安心・安全な学校づくりの最優先課題として小・中学校の耐震化に取り組んできた結果、事業計画の前倒しを行うなど平成20年度で全ての小学校が、また、平成21年度で岩出中学校北校舎の地震補強工事を実施することにより、全ての小・中学校の耐震化工事が完了した。

「小・中学校施設改修事業」では、小・中学校の補修工事及び通学路整備工事を実施した。

小学校の補修工事では、昭和42年に建築され老朽化が進んでいた上岩出小学校プール改修工事を実施した。その他、岩出小学校運動場補修工事、山崎小学校補修工事、山崎北小学校では廊下手洗い増設工事、インターホン設備工事、校内放送設備工事、根来小学校ネットフェンス補修工事、中央小学校教室扇風機設置工事、各小学校消防用設備改修等の工事を実施した。

また、中学校の補修工事については、岩出中学校では教室建具等改修工事、屋内運動場ギャラリー手摺設置工事、水路補修工事、岩出第二中学校では、自転車置場増設工事、教室建具改修工事、屋上防水工事、テニスコート改修工事、各中学校消防用設備改修工事等を実施した。

また、通学路整備工事については、岡田地区他通学路整備工事、山・金屋地区通学路整備工事他6件の工事を実施した。

このことにより、教育環境の整備や児童・生徒の安全確保が図ることができた。

「ブロック壁耐震化補助事業」では、通学路に面したブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止するため、ブロック塀等の撤去や軽量塀等の設置を補助することにより、児童・生徒及び通行人の安全を確保するため、ブロック塀等撤去を4件、軽量塀等設置を3件補助した。

### 3 学校給食の内容及び施設の充実と徴収率の向上

「学校給食運営事業」では、児童・生徒に栄養バランスのとれた安全な給食を提供し、心身の健全な育成を図ることを目的に、地産地消を推進するとともに、消毒保管庫の購入や真空冷却機の設置により、衛生面においても充実を図ってきた。また、給食費の徴収率向上のため、給食費の滞納者に対しては、和歌山簡易裁判所に支払督促申立を行うとともに、全庁体制による徴収だけでなく、夏季徴収や随時の臨戸徴収を行い、徴収率の向上に努めている。

次に、生涯学習課においては、「1、青少年の健全育成」、「2、生涯学習の推進」、「3、文化芸術の振興」の3つの項目を重点事業に取り組んだ。

#### 1 青少年の健全育成

青少年の健全育成の推進においては、次代を担う青少年の健全な育成を図

るため、市民の意識の高揚と自主的な活動、青少年の健全育成を目的とした各種団体との連携を図り、「あいさつ運動」等、子どもを育てる地域づくりを目指し、子どもを守るための活動を実施した。

青少年を取り巻く環境浄化を図るため、学校、警察、行政で構成する「岩出市内児童生徒を守る協議会」と各種関係団体と連携による、大型店舗での非行防止啓発を実施した。また、各種関係団体等が連携による岩出駅周辺環境浄化パトロールでは、駅前での清掃作業や登下校時の生徒に声かけ運動を実施した。

平成21年4月に青少年非行の早期発見、早期補導その他青少年の不良化防止活動を有効かつ適切に行い、青少年の健全な育成を図るため、市単独で青少年センターを設置し、市内巡回パトロールの回数を増やし、安心して安全な環境作りに努めると共に、街頭補導や少年相談等を実施し、青少年健全育成のため積極的な取り組みを行った。

放課後子ども教室推進事業においては、子どもたちの安心・安全な活動拠点（居場所）づくりのために、放課後や週末に市内の小学校の空き教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、本年度は、茶道・華道などの文化活動や、体操教室・グランドゴルフなどのスポーツ体験、昔の遊び教室などを開催し、地域住民との交流を図ることができた。

## 2 生涯学習の推進

生涯学習の推進においては、子どもから高齢者まで、一人ひとりが個性や能力を伸ばし、生きがいのある充実した生活を送るための学習機会の提供と環境づくりに努めた。

生涯スポーツの推進においては、うるおいと活力あふれる地域づくりを目指し、「健康で明るい安心・安全なまちづくり」の構築を図るため、生涯スポーツの普及・振興、スポーツ事業の充実、スポーツ施設の整備・拡充、スポーツ関係組織・団体の充実・育成・強化に取り組んできた。

スポーツ事業として、競技性の高いスポーツ行事や気軽に参加できるスポーツイベントの充実にも努めた。特に市民運動会では、市民のスポーツ振興とレクリエーションの普及・浸透や健康増進を図り、市民相互のふれあいと交流を深める絶好の機会を提供することができた。また、岩出市マラソン大会では、県外からの多くの参加者に岩出市を広くPRすることができ、地域間の交流も図れ、有意義な大会であった。

競技力の向上と育成、活動の活性化を図るため、スポーツ少年団や体育協会等への補助や全国大会等に出場する選手に補助することで、生涯スポーツ



の振興と青少年の健全育成などに成果を収めることができた。

### 3 文化・芸術の振興

文化・芸術の振興においては、創造性ある文化の薫り高いまちづくりに向けて、多種多様な芸術・文化に触れる機会の提供、また、図書館事業や公民館事業及び民俗資料館事業の充実に努め、文化財や文化的資源の保護・活用し、伝統的行事や民俗芸能の伝承を促進し、文化・芸術の振興を図った。

図書館においては、図書館利用促進事業として、子ども読書活動、おりがみ教室、映画会、各種体験教室等を実施することにより、住民の身近な図書館として、地域密着型運営を行い、利用促進が図れた。また、図書館閉架棚を購入することにより、図書の整理ができ、図書館の管理機能の充実に図れた。今後も、地域密着型図書館として、市民の身近にあって、いつでも、どこでも、誰にでも図書館サービスを受けられるよう努める。

公民館においては、市民の高まる学習意欲やニーズに対応した生活に役立つ学習、文化的な学習、地域に貢献できる学習等の教室や講座を実施した。

事業としては、

- ① 公民館文化教室等による文化活動の成果の発表の場として公民館フェアーの開催
- ② 一般の方を対象とした公民館文化教室として書道、英会話、韓国語等の開催
- ③ 成人講座として行政講座や歴史講座等の開催
- ④ パソコン教室の開催
- ⑤ 子どもを対象とした夏・冬子ども講座としてお菓子教室等の開催
- ⑥ 高齢者を対象としたふれあい学級として健康講座や教養講座等の開催

の事業を実施し、研修生相互の心の交流を深めることができ、積極的に地域社会に寄与することができた。

また、公民館文化教室から2団体の自主サークルの育成ができ、成果をあげることができた。

民俗資料館においては、市民からの歴史・文化についての学習に対するニーズに応えるとともに、次代を担う小・中学生や若い世代の方にも郷土の歴史文化を学ぶ機会を実施した。秋季企画展や歴史講座では、多くの方に市の歴史や文化に関心と理解が得られ、また、体験学習では親と子のふれあいと児童間の交流も図ることができた。

文化財の保護においては、国指定「史跡根来寺境内」の追加指定に関する事務事業を実施し、平成22年2月に追加指定を受けている。

今後も、関係機関との調整を図りながら、岩出の歴史、文化、観光の中心地として関心が高い根来寺の豊かな自然と歴史文化の活用、保全を図っていく。

地域の歴史・文化環境を形成する埋蔵文化財については、市内にて開発が著しく急増する個人住宅等の建設に対応するため、発掘調査を実施し、遺跡の確認資料を作成し、埋蔵文化財の活用に努めた。

また、先人たちによって築かれてきた伝統行事や民俗芸能等の調査や保存に努め、指導者や後継者の育成を図り伝統文化や文化遺産の保存、継承を促進する。

以上、岩出市第一次長期総合計画の施策に基づき、教育委員会評価委員会が教育委員会2課の全般的な事務事業の評価点検を行った。

教育委員会といたしましては、依然として厳しい財政状況の中、多様化する住民ニーズへの対応や教育課題の解消に向け、この事務事業の点検・評価を次の施策に反映できるよう、各種団体の補助金の見直しや扶助費の見直しに取り組むとともに施設の改修や新規備品購入事業等については優先度や緊急度等を勘案し、引き続き計画的に事業実施に努めていかなければならないと考える。

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価			
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等	
10	1	学校教育の充実	適応指導教室事業	心理的要因等により学校生活に適応できず登校できない児童及び生徒の在籍校への復帰を目的とする。	教室に指導員を置き、毎週月曜日から金曜日(国民の祝日等は除く)に、いじめ・不登校児童・生徒に対する教育相談、在籍校への復帰や自立を図るための指導及び援助、学校等関係機関との連携を図る。	b	継続	不登校児童・生徒の対応については、指導員が学校訪問をするなどの連携を行い、担任が家庭訪問し通級指導を行い成果が上がっている。今後も学校と連携を強化していく必要がある。
	2	"	小・中学校施設改修事業	施設の補修及び通学路の整備工事等により安心して学習できる環境整備や児童の安全確保を図る。	小・中学校の補修工事及び通学路整備工事とそれに伴う設計監理業務委託ほか各種業務委託を実施する。	a	継続	小・中学校の補修及び通学路整備工事の実施により、期待どおり教育環境の整備や児童・生徒の安全確保を図った。
	3	"	小・中学校職員室パソコン整備事業	学校情報管理の強化、ウイルス対策強化、校務の効率向上を図る。	小・中学校職員室に校務用パソコンを整備する。	b	継続	小・中学校の校務用パソコンを増設し、ネットワークでつなぐことにより教職員間での情報の共有が構築され、校務の効率向上が図られた。また、その情報を管理者のもと、一元管理することにより学校情報の管理体制が強化できた。
	4	"	小学校英語講師派遣事業	小学校5、6年児童を対象に、外国語を通して言語文化を体験し、外国語によるコミュニケーションの基礎を培う。	岩出小学校、山崎小学校、上岩出小学校には外国人講師による授業を、山崎北小学校、根来小学校、中央小学校には中学校英語教師による授業を実施する。	b	継続	外国人講師や中学校教師による英語授業を実施することで、小学校児童が英語によるコミュニケーションに慣れ親しみ、異文化理解、国際理解にもつながっている。
	5	"	小・中学校新教育課程対応備品購入事業	平成23年度から小学校、平成24年度から中学校で、新学習指導要領が実施されることから、平成21年度前倒しで理科教材を整備する。	理科の小学校(3年生から6年生)での授業数が、350時間から405時間に、また、中学校(1年生から3年生)での授業数が290時間から385時間に増大することに伴い、学習内容に新たな必須内容が追加され、それらの実験等に対応する教材を整備する。	a	継続	教材備品を整備したことにより、新たに追加された内容についても様々な実験等を行うことが出来た。
	6	"	小学校学校図書館システム整備事業	小・中学校図書館と岩出図書館の情報を共有することで、読書環境を強化する。	平成21年度から計画的に全ての小・中学校に機械を入れシステムの構築を図る。	c	継続	小・中学校間、岩出図書館等との情報の共有については、平成24年3月の岩出図書館のシステム構築後に連携を図る。

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
7	学校教育の充実	小学校パソコン教室整備事業	情報教育の活性化を図り、子どもたちがコンピュータやインターネットを活用し、情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を育成する。	年次計画で根来小学校、上岩出小学校のパソコン教室のパソコンを各41台入れ替えを実施する。	a	完了	情報機器を活用した取組により子どもたちの情報活用能力の向上が見られる。
8	〃	ブロック壁耐震化補助事業	通学路に面したブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする通行人の安全を確保する。	ブロック塀等の撤去4件、軽量塀等設置3件を補助する。	b	継続	通学路に面した危険なブロック塀等を撤去出来たことにより、児童・生徒をはじめとする通行人の安全を確保した。
9	〃	確かな学力育成のための実践研究事業	授業における実践研究を行うことにより、教員の資質向上を図り、児童の確かな学力を育成する。	根来小学校を算数研究の拠点校として、山崎北小学校を国語研究の拠点校として、各小中学校と連携しながら、算数科及び国語科の実践研究を行い、児童・生徒の確かな学力を育成する。	a	継続	根来小学校は2年間の研究指定の2年目、山崎北小学校は初年度であったが、教職員の授業に対する意識改革が随分なされた様に思われる。今後も新たな指定校を指定し、更なる指導方法の改善に取り組む。
10	〃	緑育推進「元気な森の子」事業	森林や林業の事を学び、また実際に体験することにより、森林の保全や森林を守り育てる意識を醸成する。	森林体験学習前に、事前に森林や林業の事を参考資料を用いて事前学習を行い、その後、森林に入り、実際に間伐作業や木材加工を体験する森林体験学習を行う。最後に、事後学習としてこれまでの学習を振り返り、森林の大切さや保全について学習する。	a	継続	自然と触れ合う機会が減少している現在の子どもたちにとっては、貴重な体験ができる事業であり、環境教育としての役割を果たした。
11	〃	特別支援教育就学奨励費扶助事業(小・中学校)	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を国の基準により支給し、もって特別支援教育の振興に資する。	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童・生徒用品費、通学用品費に対する奨励費である。支給については、年3回(7月、12月、3月)支給する。	a	継続	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の経済的な負担が軽減されることから、本事業の果たす役割は大きい。
12	〃	要保護、準要保護児童・生徒扶助事業(小・中学校)	経済的理由によって就学が困難と認められる児童・生徒に対し、就学の援助を行い、もって義務教育の円滑な実施に資する。	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童・生徒用品費、通学用品費に対する奨励費である。支給については、年3回(7月、12月、3月)支給する。	a	継続	要保護・準要保護児童・生徒の保護者の経済的な負担が軽減されることから、本事業の果たす役割は大きい。

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
13	学校教育の充実	中学校耐震対策事業	施設の耐震化等により安心して学習できる環境整備や生徒の安全確保を図る。また、災害時の避難所の機能を高める。	岩出中学校北校舎の地震補強工事及びそれに伴う監理業務委託を実施する。	a	完了	地震補強工事の実施により教育環境の整備や生徒の安全確保が図れた。本工事の完了により、平成20年度で全ての小学校が、また、平成21年度で全ての中学校で耐震化工事が完了した。
14	〃	和歌山を元気にする職場体験事業	職場体験事業を実施することにより、生徒に望ましい勤労観及び職業観を身に付けさせる。	各中学校を拠点として、実行委員会及び事業所と連携しながら、職場体験事業を実施することにより、生徒に望ましい勤労観及び職業観を身に付けさせる。	a	継続	両校とも事業所の協力により、無事職場体験が実施できた。中学生が職業について考える有効な事業であり、今後も必要な事業である。
15	〃	中学校防災訓練及び防災ジュニアリーダー育成事業	中学生の危機意識を高めるとともに、災害時の地域防災活動において中心的な役割を担うことを意識づけるために防災訓練を実施する。	防災訓練は、夏休みの土曜日に、各中学校を会場に3年生を対象として実施する。防災ジュニアリーダー育成事業は、夏休みの2日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署を会場に、中学生を対象に実施する。	a	継続	授業の一環として防災訓練を実施することができた。今後も、こうした訓練を一層充実させ、中学生の防災意識の高揚を図り、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーを育成する。
16	〃	私立幼稚園就園奨励費補助事業	私立幼稚園の設置者が保護者から徴収する保育料等を減免する場合には、当該私立幼稚園の設置者に対し、私立幼稚園就園奨励費補助金を交付することにより、保護者の負担を軽減し、もって幼児教育の振興に資することを目的とする。	私立幼稚園に在籍する本市に住所を有する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の岩出市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に該当した保護者に対し、設置者が保育料を減免する場合には、当該設置者に対し、補助を行う。	b	継続	保護者の経済的な負担を軽減するため、私立幼稚園に対する補助事業であり、今後も継続実施が必要である。
17	〃	学校給食運営事業	児童・生徒に栄養バランスの取れた安全な給食を提供し、心身の健全な育成を図ることを目的とする。	児童・生徒に栄養バランスの取れた安全で安心な給食を提供する。	b	継続	学校給食は、バランスの取れた内容となっている。今後も、地産地消の推進と安全な給食の提供を図るとともに、収納率の向上に努める。

平成21年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成21年4月1日～平成22年3月31日)

教育総務課

総合評価

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
18	児童福祉・ひとり親家庭福祉の充実	放課後児童健全育成事業	共働き世帯を対象に放課後において、児童の健全な育成を図る。	社団法人シルバー人材センターに委託し、市内6ヶ所(7教室)で実施している。(平日は、13時から19時、土曜日は8時から19時開設、日曜休所)	a	継続	放課後の児童の健全育成が図れるため、効果が高い。今後も子供の居場所づくりについては、放課後子ども教室との連携を図って充実する。
19	国際交流の推進	外国青年招致事業	生徒を対象に、外国語での授業を実施することにより、外国語教育の充実及び促進を図る。	外国の青年を英語指導助手として招致し、中学校で英語教育の授業を実施する。	b	継続	教育改革の流れ、国際化が一層進展していく中、英語教育や国際理解の充実に大きな役割を果たす。

平成21年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成21年4月1日～平成22年3月31日)

生涯学習課

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
1	青少年の健全育成	青少年育成市民会議助成事業	青少年健全育成の中心的役割を担う、青少年育成市民会議に係る活動費を助成し、家庭・学校・地域及び行政が連携し、青少年の健全育成を推進する。	市民の理解と協力のもと、「子どもを育てる地域づくり」をめざし、地区育成会の立ち上げや支部会活動の推進、また、人間関係の確立や仲間意識・地域連帯意識を醸成するため、「活力ある地域活動」、「意識啓発のための活動」、「関係機関・諸団体との連携強化と情報収集」、子どもを守るための活動を実施する。	a	継続	各育成会とのつながりを密にし、事業等実施前に地区委員懇談会を開催し、活動の充実を図るとともに、子どもを守るネットワークの拡充や見守り活動の強化及び防犯カメラの活用により、犯罪の起きにくい環境づくりに寄与できた。また、あいさつ運動による地域ボランティアも着実に増加し、登下校時の安全が図られた。
2	〃	青少年センター運営事業	青少年センターの運営・管理にかかる経費を負担する。	青少年非行の早期発見、早期指導、その他青少年の不良化防止活動を有効適切に行い、青少年の健全な育成を図る目的で街頭補導・少年相談・継続補導し、関係機関との連携などを図る。	a	継続	学校・家庭・地域、関係機関、関係団体との連携を図り、巡回パトロール等を通じ、非行防止・啓発など積極的な取り組みができた。
3	〃	放課後子ども教室推進事業	放課後に地域の方々の参画を得て、学習活動・文化活動・地域住民との交流活動等を推進する。	安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動を推進する。「茶道・華道・将棋・囲碁・碁等の文化体験、地域住民との交流活動(昔の遊び)軽スポーツ体験、よさこいや根来の子守唄などの伝統文化の伝承」など	a	継続	放課後子ども教室は、様々な学習活動や文化活動とともに、地域住民との交流を図り、地域住民の参画を得て、地域教育力の向上も果たせた。
4	文化・芸術の振興	公民館事業	市民の高まる学習意欲に対応した公民館運営に努め、公民館の充実を図り、住民ニーズに応じた様々な講座等を行う。	市民一人ひとりが適切に学習できる”場”と”機会”の拡大を図り、あらゆる世代に親しまれる公民館活動を展開する。「公民館文化教室・夏と冬の子ども講座・公民館冬の講座・パソコン教室・成人講座・ふれあい学級・家庭教育学級・公民館フェア」など	b	継続	市民の学習ニーズに応えることができた。文化教室から平成21年度は新しく2団体の自主サークルの育成ができ、成果をあげることが出来た。
5	〃	図書館利用促進事業	図書館で様々なイベントを開催し、市民が図書館を利用するきっかけを作ることによって、市民の読書活動・生涯学習を推進する。	市民の身近にあって、いつでも、どこでも、誰にでも図書館サービスが受けられるように、岩出図書館と分館・分室の連携を図り、地域密着型図書館として、利用促進する。事業として、子ども読書活動、おりがみ教室、映画会、各種体験教室を実施する。	a	継続	開館4年目を迎え、住民の身近な図書館として地域密着型運営を行い、利用促進事業も定着してきた。今後も図書館ボランティアの協力を得、事業の推進を図る。
6	〃	図書館閉架図書棚設置事業	岩出図書館蔵書30万冊の購入に向けて、対応できる閉架図書棚の購入を行う。	年次計画を立てて閉架図書棚を購入し、閉架図書棚を86棚とします。平成21年度は20棚を購入する。	a	継続	閉架図書棚の設置により、図書館の管理機能の充実を図ることができた。
7	生涯学習の推進	曾屋教育集会所耐震対策事業	曾屋教育集会震診補強工事。	地域の避難場所、また地域の学習拠点であることから耐震補強工事を実施する。	a	完了	耐震補強工事の完了により、安全・安心な施設管理が図られた。

平成21年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成21年4月1日～平成22年3月31日)

生涯学習課

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
8	生涯学習の推進	生涯教育振興事業	市民が豊かで、より充実した生活を送るために自発的意思に基づき、自ら進んで学習できる機会を提供する。	文化祭の前夜祭として、生涯学習を考える集いコンサートを実施する。 開催日 平成21年10月30日	a	継続	クラシックを中心に、根来の子守唄を含めたピアノ演奏やチェロ・バリトンを幅広く楽しむことができ、参加者にも大変好評であった。
9	〃	負担金・補助金事業	競技力の向上と育成、活動の活性化を図るため、スポーツ少年団・体育協会への補助金や県への負担金	市体育協会並びに市スポーツ少年団他4団体に対して補助する。	a	継続	各補助金、負担金は、生涯スポーツ振興・青少年健全育成などに成果をあげた。
10	〃	市民運動会事業	市民へのスポーツ振興と、レクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係をはぐくむとともに明朗・活発な人間育成に資する事を目的とする。	参加者が運動会の1日をスポーツで楽しむよう、運動会種目(22種目)並びにスポーツアクション(6箇所)を実施する。	a	継続	参加者数9,912名と、多くの市民が参加して健康増進を図り、市民相互のふれあいと交流を深める絶好の機会を提供することが出来た。
11	〃	岩出マラソン大会事業	市民及び参加者に、健康と体力づくりをするための生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広くPRすることを目的とする。また、参加者間の交流はもちろん、応援される方々、大会関係者等がお互いにふれあうことの素晴らしさをこの大会を通じて体感し、再認識していただくことで、今後の「健康で明るい安全・安心なまちの実現」を目指す。	一般15キロの部、一般5キロの部、小学生3キロの部、ファミリー2キロの部、参加者1,600名募集 会場並びにコース:根来若もの広場(広域農道スタート～若もの広場ゴール) 平成22年3月14日(日)開催	a	継続	予想以上の参加者数(2,242名)で、県外からの参加者も多く、岩出市を広くPRすることができた。また、参加者間の交流により、互いにふれあうことが出来、有意義な大会であった。
12	〃	スポーツ教室事業	市民のスポーツ振興を図り、健康で明るいまちづくりを推進する。	親子体操教室・ヨガ教室・エアロビクス教室を実施。	a	継続	毎年、内容に工夫し楽しく参加できるよう取り組み、市民の健康維持増進に貢献した。
13	〃	大会等選手派遣補助事業	スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助することを目的とする。	市スポーツ少年団及び市体育協会に属する者が大会に出場する場合の経費の一部を補助する。	b	継続	本年度は全国大会11件、近畿大会11件、県大会22件計44件の派遣補助を行い、スポーツの振興が図れた。



平成21年度教育委員会事務事業評価一覧表(評価期間:平成21年4月1日～平成22年3月31日)

生涯学習課

番号	主要施策名	事務事業名	事業の目的	事業概要	総合評価		
					評価	今後の方向性	評価の理由、課題、今後の対応等
14	生涯学習の推進	アリーナ系統吸収式冷温水発生器補修事業	アリーナの空調機が故障したため、補修を行い、施設の整備・充実を図る。	アリーナ系統吸収式冷温水発生機一式と溶液ポンプ取替え(冷媒溶液、高温溶液、低温溶液ポンプ)一式	a	完了	アリーナ系統吸収式冷温水発生機及び溶液ポンプ取替え補修により、良好な状態を維持することができた。
15	〃	防排煙設備手動開放装置補修事業	排煙手動開放装置の不具合のため、補修を行い、施設の整備・充実を図る。	排煙手動開放装置 開錠ボックス埋込型4台、開錠ボックス露出型3台、試運転調整一式を施工	a	完了	排煙設備手動開放装置補修により、良好な状態を維持することができた。
16	文化・芸術の振興	文化祭事業	市民文化の一層の発展と充実を図るため、文化活動の成果を発表する機会を設け、文化活動の振興と普及を図るとともに参加を通じて薫り高い文化への理解を深め、心がふれあう活力あふれるまちづくりを推進する。	日時:平成21年10月31日(土)～11月1日(日) 場所:市民総合体育館ほか 内容:(テーマ 咲かそう 文化の華) ○作品展示 ○芸能発表 ○各種イベントコーナー	a	継続	文化活動の成果を発表する絶好の機会として、文化祭での発表・展示を行い、市民の文化の向上が図れた。
17	〃	企画展等開催事業	市民や次代を担う小中学生に市の歴史・文化に関心や理解を深めてより一層郷土愛を培っていただくことを目的とする。	歴史講座2回、体験学習2回 「昔の道具」 昔の暮らしを見てみようをテーマに企画展を平成21年10月31日(土)から11月29日(日)まで開催。 記念講演会「暮らしの道具の起源を探る」を題材に平成21年11月29日(日)に講演会を開催。	b	継続	多くの方に市の歴史・文化に関心と理解が図れた。また、体験学習を通じて親と子のふれあいと児童間の交流も図ることができた。
18	人権尊重の推進	人権啓発活動地方委託事業	図書館事業として、人権尊重思想の高揚を図り、市民に人権問題に対する認識を広めるため、講演会を実施する。	法務省人権啓発活動委託事業講演会として実施 子育て世代の方への一時保育を実施 平成21年11月7日 開催	a	継続	人権問題に対する正しい認識を深めるとともに、人権啓発活動を図ることができた。
19	人権尊重の推進	保護者学級開設事業	学校の保護者を対象に、人権問題に関する認識と人権教育を推進していくうえで、家庭や地域が果たす役割について正しい認識を持つ。	学校における人権学習に理解を深め、教材や歴史学習の内容について学習する。また、人権に関わる講演会等を実施する。	b	継続	保護者学級を開設し、保護者の意見を聞き、人権問題に関する正しい認識と家庭や地域での果たす役割について理解を得ることで、地域教育力に寄与することができた。